

# 校舎長 × 合格者



～合格対談～

一橋大学 経済学部

吉村知悟さん (洛星高校)



吉村さんは、高校2年の6月に河合塾マナビス京都駅南校に入会。  
マナビスでの受験生活を京都駅南校の山口校舎長と振り返ってもらいました。

吉村さん「マナビスは自由に時間を使えるのが魅力で、部活もやっていた僕に合っているなと思い入会しました。」

山口校舎長「吉村くんは、いきなり『一橋に行きたいんです!』と言ってましたね。」

吉村さん「志望校は一橋と決めていました。ただ、この勉強法で一橋に行けるのか、という不安がありました。だから山口さんが『一橋ならいつまでにこう進めていこう』とすぐに道程が見える化してくれたのが頼もしかったです。」



山口校舎長「実際にマナビスに通いはじめてどうでしたか？」

吉村さん「まずはあたりまえですが授業が素晴らしかったです。どの科目も最高レベルの授業でしたね。特に“数学ⅠAⅡBレベル5・6文系”はしびれました！」

※河合塾数学科・広瀬和之先生

山口校舎長「しびれましたか？(笑)」

吉村さん「広瀬先生のおかげで一橋の数学が解けるようになりました。あとは良問揃いのテキストに安心感がありました。マナビスのテキストは最低5周しました。」



山口校舎長「僕は常に言っていますが、マナビスは魔法じゃないので授業を受けただけでは成績は伸びません。」

吉村さん「それ、何回も聞きましたね(笑)。映像授業を受けただけで成績が上がるなんてありえないって…。」

山口校舎長「とにかく復習の方法が大切。それと「いつ、何をするか」が受験では本当に大事です。」

吉村さん「マナビスの良かったところにタイムマネジメント能力が身についたことがあげられます。特にマナビス手帳。あれが本当に良かったです。」

山口校舎長「マナビスのこだわりオリジナル手帳です。吉村くんは上手に使いこなしましたよね。」

吉村さん「オーバーじゃなく社会に出てからも役に立つ習慣が身についたと思っています。大学生になってからも使いたいので来年の手帳ももらえませんか？」

山口校舎長「いいですよ。(笑)大学でもPDCAをまわしてください。」



吉村さん「山口さんをはじめ、何でも相談できるアドバイザーの方々との近い関係に辛い時も救われました。山口さんが出張で東京に行ったときにわざわざ大学まで行って“一橋大シャーペン”を買ってきてくれたのは感激しました。」

山口校舎長「二次試験のため東京に出発するときは固い握手で旅立ちましたね。」

吉村さん「前日は緊張しましたが、本番は意外と落ち着いていました。それが良い結果につながったんだと思います。」

山口校舎長「では最後に、将来の抱負を聞かせてください。」

吉村さん「卒業後のことはまだ決めていませんが、せっかく一橋に行くので将来につながる人脈をどんどん広げたいですね。本当に楽しみです。あ、それからもう一つ。大学時代にしたいことがあります！」



山口校舎長「何ですか？」

吉村さん「マナビスでアルバイトさせてください。大学のある国立駅前にマナビスを発見したんで…。」

山口校舎長「わかりました(笑)。むこうの校舎長に頼んでおきます！」

次のステージでの更なる活躍を期待しています。充実した大学生活を送ってください。

吉村さん、現役合格おめでとうございます。